

生き生きと活動し、他者と進んで関わろうとする児童の育成

～学級全員で取り組む事前活動の工夫を通して～

特別研修員 特別活動 町田みわ子(小学校教諭)

児童の実態

- ・人との関わりが消極的で、固定した人間関係の中で過ごしている
- ・自分の気持ちを表現することが苦手である
- ・自分で考えて行動することが苦手である

教師の願い

- ・積極的に様々な人と関わってほしい
- ・相手の気持ちを考えられるようになってほしい
- ・自主的に行動してほしい

議題 「校内かるた大会に向けて練習会を開こう」

手立て1

情報収集する時間の設定
活動をするために必要となる情報を全員で集める

ミニ話合いの設定
集めた情報を共有する大切なことを確認する

事前



実態調査
上毛かるたについて知っているか1、2年生に聞く。

ルール・並べ方知っている？



聞き取り調査
上毛かるたの練習方法、教える時に気を付けることを先生に聞く。

どんな方法がありますか？

名人ポイント

〔練習方法〕
・繰り返し練習する
・枚数を少なくする
・図に書く

〔関わり方〕
・優しく ゆっくり教える
・ゆっくり話す
・短い言葉で話す
・怒らない
・褒める

情報共有・視点を持つ

先生方から得た練習方法を全員で共有する。また、先生方から得た情報を基に、小さい子と関わる時に大切なことを出し合う。

手立て2

事前活動の情報を取り入れた話合いの設定
事前活動で作成したワークシートの活用
共有した情報・視点の提示

本時

【事前調査シート】
上毛かるたの練習の仕方
・かるたのルールを覚える
・札絵を最初に覚える
・得意札を5枚覚える
・姿勢は、四つん這い
・札は滑らせるように取る

事前活動で作成したワークシート



個人で考える
事前活動で作成したワークシートを参考にし、練習方法を考える。

どんな練習がいいかな…

〇ちゃんは、27枚知っているけど、
〇君は、1枚も知らなかったよね。
覚えられるかな…

絵札の絵だけ見せて何の札か聞いていく練習はどうか？

名人ポイントにあったから枚数を少なくしてやったらいいかな。

できたら褒めてあげよう。



グループで話し合う
個人の考えを基に、練習方法を考える。

練習会を開く

事後



1年生ができるようになった。嬉しいな。

1、2年生が喜んでくれた。また、やりたいな。頑張ってた良かった。

計画を基に実践する



ひつような練習	練習するときに 気をつけること	
	名人ポイント練習方法	名人ポイント関わり方
絵のうたさあひばえさせる	おぼえる事を少なくする	一こまきなら次のことをする
ルールをおぼえさせる	しゅう甲させる	ほめてあげる

事前活動が活かされた練習計画書

成果

- 事前の情報収集は、児童の考えを広げたり、グループでの話合いの手立てとなったりした。また、話合いの視点を持つことで、本時の話合いが充実し、児童の活動へ向けての意欲が高まった。
- 先生方や異学年の子と、楽しそうに関わる様子をよく見かけられるようになった。
- 自分たちで作る活動に意欲的に取り組む様子が見られるようになった。

課題

- 児童が人と関わることを楽しいと感じ、達成感や満足感を味わうことができる活動を選定する必要がある。また、実施する題材に適した事前活動の選定が必要である。
- 学級全員で事前活動に取り組むための時間の確保が必要である。